

SS 研 教育環境分科会 2022 年度会合

活躍できるデータ・サイエンティストの育成 ～高校・大学・社会との接続を見据えて～

～ SS 研会員、CS 研会員、IS 研会員の各機関ご所属の方なら、どなたでもご参加いただけます ～

■ 日 時 : 2023 年 1 月 20 日 (金) 9:00～12:30

■ 場所 : 神戸国際会議場 (ハイブリッド開催(集合+オンライン))

■ 開催趣旨

今、世界的にデータ・サイエンティストが求められている一方、人材不足が大きな問題になっています。日本では、政府が 2019 年 6 月に「AI 戦略 2019」を発表し、その中で数理・データサイエンス・AI に関する人材育成の具体的目標が掲げられ、教育機関や企業でデータサイエンス教育が進められてきています。人材育成の観点から、これらの教育を概観するとともに、接続を意識していくことが重要だと考えられます。

今回の教育環境フォーラムでは、活躍できるデータ・サイエンティストの育成に焦点をあて、高校、大学、企業でどのようなデータサイエンス教育が実施されているのか、先進的な事例についてご紹介いただき、社会への接続を見据えた上で、データ・サイエンティスト育成の今後の展望について議論できれば、と考えています。

■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

—敬称略—

8:45～	ウェビナー接続開始
	[司会] 松葉 龍一 (東京工科大学)
9:00～9:05	開催趣旨説明 村上 正行 (大阪大学)
9:05～9:45 講演 30 分 Q&A 10 分	講演 1 「探究型カリキュラムへの取り組み 社会課題を解決する AI を使ったアプローチ」 前 雅和 (関西学院高等部) 本校における探究型カリキュラムの一環として「AI 活用アドバンスド」を週 2 時間展開している。今年度は AI を用いて社会課題を解決することに取り組んでおり、AI を作ることよりどう使うのかという点に重きを置いている。学習過程において「良い AI には大量に質の良いデータが必要」という点に留意し、良いデータを集めるためには人間の判断力が必要であることにも触れている。なお、カリキュラム内容については関学大の副学長で AI 活用人材育成プログラムの統括である已波弘佳氏 (関西学院大学理工学部情報科学科教授) の監修を受けている。
9:45～10:25 講演 30 分 Q&A 10 分	講演 2 大学におけるデータサイエンス教育 ～滋賀大学の事例～ 飯山 将晃 (滋賀大学) 滋賀大学ではデータサイエンティスト人材の育成を目標として 2017 年に日本初のデータサイエンス学部を 2019 年にデータサイエンス研究科を設置した。文理融合型の学部・研究科であり様々なバックグラウンドの学生・社会人に対して教育を行っている。本講演では、学部でのデータサイエンス教育の実践例、社会人向けの AI・データサイエンス教育の事例を紹介しつつ、滋賀大学におけるデータサイエンス教育モデルを解説する。
10:25～10:40	休憩 (15 分)
10:40～11:20 講演 30 分 Q&A 10 分	講演 3 データ利活用の取り組みと今後の展望 西尾 成史 (富士通 Japan 株式会社) 急速に社会が変化していく中で、大学においても今までの業務の在り方を見直し DX 化していくことが必要とされています。中でも、教育研究向上や経営改善という観点から大学 IR の実行は不可欠となっています。実行するためには、散在しているデータを集約・統合して現状の課題を発見し、データ分析していかなければなりません。企業も大学もデータ利活用ができる人材が不足しており育成が喫緊の課題となっています。本講演では、データ利活用の取り組みや人材育成について事例を通してご紹介します。

(裏面に続く)

11:20～11:35	休憩(15分)
11:35～12:25 50分	パネルディスカッション 「活躍できるデータ・サイエンティストの育成 ～高校・大学・社会との接続を見据えて～」 ファシリテーター：椎原 正次（大阪工業大学） パネリスト：前 雅和（関西学院高等部） 飯山 将晃（滋賀大学） 西尾 成史（富士通 Japan 株式会社）
12:25～12:30	閉会挨拶 小林 真也（愛媛大学）

■ 会場

神戸国際会議場

<https://kobe-cc.jp/ja/visitors/access/>

- 所在地：神戸市中央区港島中町 6-9-1
- アクセス：神戸空港よりポートライナーで約 8 分 市民広場駅下車
三宮駅(JR・阪神・阪急)よりポートライナーで約 10 分 市民広場駅下車

※オンラインにお申込みいただいた方へは、開催日前に事務局から、Zoom ミーティングの URL、ID 等をお知らせいたします。

■ ご参加について

- 参加対象：SS 研会員、CS 研会員、IS 研会員の各機関ご所属の方
- 参加費：無料

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sken.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS 研) 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通株式会社 官庁第六事業部第二ビジネス部内
Email: ssken-office@ml.css.fujitsu.com
URL <http://www.sken.gr.jp/MAINSITE/>